

# 高精細な画面表示で伝達力がアップ さらに4カ所同時のネット配信で掲示の手間もカット



## 導入先

学校法人谷岡学園 神戸芸術工科大学さま

- 兵庫/神戸市
- 1989年創立。学生数約1700人。デザイン学部・先端芸術学部の2学部・7学科と大学院を設置するデザインとアートの芸術系総合大学。海外4カ国に協定校を持ち、現在20カ国の留学生在籍するなど、国際的クリエイターの育成に取り組まれている。



## 導入商品

インフォメーションディスプレイ

PN-E521×4台  
(フロアスタンドPN-ZS601)

- 2010年10月、校内の掲示物のペーパーレス化を目標に、食堂、本館1階、初代学長の建築学者・吉武泰水を記念した吉武記念ホール内カフェテリア、コンピューターラボラトリーに各1台ずつ導入。

## こんなソリューションを実現しました。

### 導入前の課題

これまで、学生への告知書類は中庭の掲示板に掲載していたのですが、掲示・取り外しに手間がかかっていました。また、日焼け等で文字が不鮮明になるなど、伝達力の低下も課題でした。

食堂などの明るい場所でも、小さな文字までくっきりとよく見え、学生への伝達力が高まりました。

表示コンテンツは4カ所同時にネットで送信できるので、掲示作業の手間が大幅に省けます。

学生から自作コンテンツの放映希望が寄せられるなど、新しい用途が生まれ、告知媒体としての価値が向上しました。



学校法人谷岡学園  
神戸芸術工科大学  
教学課 福田智啓さま

■ 導入の背景

紙媒体の告知は伝達力に限界。  
ペーパーレス化にはディスプレイが最適。

紙での掲示は、管理に手間がかかるだけでなく見逃がされることも多く、日焼けなどによる文字の不明瞭化等で、情報が伝わらない心配がありました。そこで、校内掲示物のペーパーレス化を推進しようということになり、電子掲示板という選択肢が出てきました。

■ 選ばれた理由

高輝度なので、明るい場所でも鮮明な画像。  
ハイクオリティな要望に応えられる高精細表示。

いくつかのメーカーで検討を重ねた結果、長時間使用しても焼き付きがなく、明るい場所でもくっきりと鮮明な文字や画像を映し出せるシャープのディスプレイの採用に到りました。また、デザインやアートのプロを養成する本学では、ディスプレイ等の色彩・画質にもハイクオリティを求めていました。シャープの高精細なディスプレイならば、そのニーズに応えられると考えたのです。

■ 導入後の効果

画面表示と同時に学生の反応が顕著に。  
学生からのディスプレイ利用申し込みも。

表示コンテンツを4ヵ所同時にネット配信できるので、多量の紙を画紙で止めてははずす手間が省けた上、大画面での鮮明な文字と画像による告知はアイキャッチ効果が非常に高く、セミナーへの応募、ソフト販売への購入増大など、学生の反応が顕著になりました。また、学生から自分の作品を公開したいという要望等もあり、従来の掲示板の枠を超えた新しい情報伝達ツールとしての期待も高まっています。

■ 今後の展望

動画やライブ中継も流したい！  
開放的な情報伝達ツールとしての活用を広めたい。

現在は、各所共、同じ静止画のコンテンツをスライドショーで表示していますが、今後は、動画やライブ中継にも本格的に取り組みたいと思っています。さらに、事務用途だけでなく、学生や教授陣等も使える開放的な情報伝達ツールとして、沢山の人の利用してもらえればと考えています。



吉武記念ホール内カフェテリア



本館1階入口

■ システム概念図

